

ルターは作詞した「神は我がやぐら」の中で「わが命も、わが宝も、とらばとりね、神の国は、なお我にあり」と詩いました。しかしかつて、婦人宣教師V・マグラス師が「そういう信仰も大切ですが、主の祈りの『我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ』と祈る事はとても重要です。私たちは吠えた^{たけ}猛る獅子のようなサタンから守られるように祈らなければなりません」と語られました。神様のご計画の中で試練にあうことを許される事があります。またサタンの誘惑に陥ってしまうこともあります。私たちはご聖霊により助けを頂けるように、いつも祈る必要があります。

今日の聖書の学びの要点

- ・ 試みにあうことは私たちにとって、辛く苦しい事ですが、愛なる神様は脱出の道を備えて、勝利を与えて下さいます。

I、主は、試みをコントロールされる

1、先回「試み」について学びました。私たちが試みに遭うとき、主はその「試み」をどのようにコントロールされるのでしょうか。

①試みにあう前に、祈るように教えられる (マタイ 24 : 19～22)

②主は私たち一人一人の強さ、弱さなどの特性を知っておられ、成長のために相応しい試みを用いられる (I コリント 10:13)

2、私たちは聖書の人物を通して、試みにあったときの通り抜け方、解放されるための方法を見ることが出来ます。

①アブラハム ②ダビデ ③ペテロ

Ⅱ、ご聖霊の助けがある

1、私たちの弱さのために、祈って下さるご聖霊はどのような方でしょうか (ヨハネ 15 : 26、16 : 7、使徒 1 : 8)

- ・ 助け主、慰め主
- ・ 力を与えられる方

2、ご聖霊は折りに叶った助けを与えて下さいます。パウロの生涯からみていきましょう。(ヘブル 4 : 16)

①信徒の仲間に入るために、バルナバが備えられた。(使徒 9 : 27)

②あらゆる苦難を通ったが、ご聖霊がみことばを与え励まされた。

(使徒 18 : 9～10)

③眼病のために祈ったが応えられなかったが、助け手を与えられ、かえって霊の目が開かれました。(Ⅱコリント 12 : 7～10)

3、「脱出の道を備えて下さる」とあります。これはどのような意味でしょうか。(Ⅰコリント 10 : 13)

※ギリシャ語「脱出の道」という箇所の前に、定冠詞τῆν(テーン)が付いています。

これは最初から神様が用意し、備えられた「脱出の道」があるという意味です。

パウロは迫害されローマに幽閉され自由をうばわれましたが、そこで多くの手紙を書きました。医者ルカはパウロの健康と口述筆記する助け手となりました。彼の心は御国を思い、喜びに溢れ、勝利の人生を歩みました。